

## 野生動物に対する「撃退器」の適切な活用法の実証

当センターでは、音や光を発して野生動物の被害を防止する装置（以下、撃退器）に対する動物の反応を調査しました。

電気柵で囲った試験地に現れたシカの行動を観察した結果、撃退器に対して驚き等の反応をする個体と無反応の個体が有り、個体差のあることが解りました。また、1ヶ月程度で撃退器に慣れたと思われ、その後は撃退器の位置や機種を変更しても、シカがエサを食べる行動に変化はありませんでした。

撃退器の多くは防除柵に比べて単価も安く、設置の手間や維持管理も容易なイメージから関心を持つ農家もあるため、今回の調査結果を、撃退器の適切な使用方法の普及に活用します。



撃退器に反応せずエサ場へ向かうシカと採餌の様子